

WKCフォーラム 「最前線を担う看護師 ～グローバルヘルスにおける役割と展望～」

2020年世界保健デー「看護師・保健師と助産師を支援しよう」記念

2020年11月23日(月・祝) 13:00-16:00 オンライン・フォーラム

主催：WHO健康開発総合研究センター（WHO神戸センター）

共催：WHO神戸センター協力委員会

協力（五十音順）：神戸市看護大学 国立国際医療研究センター 東京検疫所 兵庫県看護協会 兵庫県立大学 ほかに

背景

世界保健機関健康開発総合研究センター（WHO神戸センター・WKC）は、WHOジュネーブ本部の一部局であり、国内外の学術機関、研究機関と連携してユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）ならびに災害・健康危機管理（Health EDRM）に関するグローバルヘルス課題を解決する政策研究に従事しています。阪神淡路大震災の復興のシンボルとして兵庫県、神戸市の協力で設立された経緯から、地元を中心とした地域貢献も行っており、WHOの設立を記念する世界保健デーのテーマにちなんだフォーラム（一般向け、専門家向けを含む）も毎年開催しています。

2020年の世界保健デーのテーマは「看護師・保健師と助産師を支援しよう (support nurses and midwives)」であり、看護師、保健師、助産師は、UHC実現に向けて、また、感染症の発生や自然災害がもたらす健康危機においても、保健医療の最前線の業務に従事する不可欠な役割を果たしており、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応でもその貢献が再認識されています。

このような背景に鑑み、WHO神戸センターは、グローバルヘルスにおける看護師、保健師、助産師の役割や貢献をハイライトするとともに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応に関連する様々なケーススタディ、そして健康危機管理を見据えた看護教育について検討するオンラインのフォーラムを、日本の関係機関と連携して開催します。

開催目的

- グローバルヘルスおよび地域の保健医療における看護師、保健師、助産師の役割について理解を深め、その貢献について周知する。
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策を含む健康危機に対する看護師、保健師、助産師の貢献についてのケーススタディ、ベストプラクティスを共有する。
- 健康危機管理を見据えた看護教育について検討し、学生や若手の育成に貢献する。

期待される成果

- 看護師、保健師、助産師の貢献をハイライトし、その重要な役割について当事者および一般の理解と関心が深まり、平時、有事の保健医療への理解と協力が深まる。
- 最前線での業務に従事する上での重要な教育、訓練の要素について知見が深まる。
- 健康危機管理と看護教育に関する共同研究等の可能性がうまれる。

参加申し込み方法（参加費無料）

下記 URL オンライン・エントリーシートからお申し込みください。

<https://ez-entry.jp/wkcforum2020-Nov/entry/>

参加登録締め切り：11月20日（金） 17:00